

第1期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略 最終評価

1. 基本目標の達成状況

基本目標（1）安定した雇用を創出する

【数値目標】 町内における雇用者数

当初値（H24）	最終値（H28）	目標値
14,970 人	14,105 人	16,000 人

基本目標（2）新しい人の流れをつくる

【数値目標】 町の中心部の魅力や活気への満足度

当初値（H25）	最終値（H30）	目標値
10.8%	11.3%	20.0%

基本目標（3）若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】 子育て世帯の「子育てのしやすさ」に対する満足度

当初値（H25）	最終値（H30）	目標値
37.0%	45.3%	50.0%

基本目標（4）時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、 地域と地域を連携する

【数値目標】 今後も武豊町で暮らしたいと思う町民の割合

当初値（H25）	最終値（H30）	目標値
89.3%	84.2%	92.0%

《第1期総合戦略 基本目標について》

- ◎ 目標値を達成した基本目標は **4項目中0項目**であった
- ◎ 全体的に目標設定が高すぎたのではないか（※例.6年間で雇用者数約1,000人増、など）
- ◎ 数値目標と、施策・事業との関連性が弱い部分があったのではないか

《第2期総合戦略策定に向けて》

- ◎ 人口等の推移や地域経済の状況などの客観的なデータや、各種アンケート調査等による主観的な意見を踏まえた分析を十分に行い、基本目標を達成するための施策の十分な洗い出しと、数値目標の適切な設定をする必要がある

2. KPI（重要業績評価指標）の結果・・・資料3 参照

- A：目標値（当初）および、目標値（修正後）を達成している
- B：目標値（当初）は達成したが、目標値（修正後）には届かなかった、あるいは当初値より数値は上昇したが、目標値には届かなかった
- C：当初値より数値が下落した、あるいは目標値にほとんど届かなかった
- D：ほとんど進捗が図られなかった



※KPI 全 36 項目

《第1期総合戦略 KPI（重要業績評価指標）の結果を受けて》

- ◎ KPI の中には、事業の改善（Action）がしにくいものや、事業は推進しているものの **KPI の数値増減が外的要因に大きく左右され、一見進捗が図られていないように捉えられてしまうものがある**。また、**基本目標との関連性が弱い施策・事業も存在する**
- ◎ 計画年度途中で目標値を上方修正したが、結果的に修正後の目標値を達成できなかった事業や、上方修正後に数値が減少してしまったものがある

《第2期総合戦略策定に向けて》

- ⇒ KPI の設定や運用方法、目標設定などの **全面的な見直しが必要**。
- ⇒ また、次期計画においては、真に修正が必要な KPI を除き、**頻繁な KPI の修正はせずに運用**した方がよいと考えられる。
- ⇒ 総合戦略では、複数分野にまたがって検討・検証が必要なものも多いため、関係課の中堅職員が参画する **部署横断的な検討組織（プロジェクトチーム）** を立ち上げ、新規事業の継続的な検討と総合的な推進体制の強化を図る。